

留学だより No. 7

こんにちは。二月分の留学だよりです。ほんとに申し訳ないですが、今月は文字多めです。

今月は今更ですがアメリカの学校生活をより詳しく紹介したいと思います。時間割としては下の画像の通りです。初めのころにあった水泳は、シーズンが終わり Weight Training に変わりました。一時間目は水曜日以外は 8:00 に始まり、水曜日は 8:30 に始まります。六時間目の終わりはどの日も同じ 15:00 です。昼ご飯の時間は一時間ほどで日本と同じくらいです。授業のレベルとしては、高くはないと思います。小石川と比べたら、小石川のほうが圧倒的に高いです。ただしすべて英語なので留学生にとってみると何を言っているのかの理解などの言語的な問題はもちろんあります。

Red Mountain High	
1: Biology	
Room: 155	
Teacher:	
2: Weight Training	
Room: Boys Locker...	
Teacher:	
3: Sophomore English	
Room: 121	
Teacher:	
4: Physics	
Room: 821	
Teacher:	
5: Algebra II	
Room: 808	
Teacher:	
6: American History	
Room: 603	
Teacher:	

ここからは日本とアメリカの違いについて述べます。

アメリカでは授業中の飲食に関しては何の縛りはありません。四時間目におなかですいたからお菓子を食べたり、早弁しても構いません。先生が生徒にお菓子を配ったり、授業中にパーティーをするときもあります。

授業中の居眠りですが、意外とほとんどありません。

携帯の使用は一応禁止されています。しかし日本との違いとして、その日やるべき課題を完全に終えていたり、先生がその日教えるところが終わって時間が余っていたりするならば何の問題なく使えます。あと授業中に調べたいことがあったり、電卓として使いたいときは使えます。アメリカの生徒は、数学や物理の授業で計算をするときにどんなに簡単なものでも筆算せずすぐに計算機を使います。テストでも使用可能の時があります。

授業中の様子としては、先生が話をするだけという授業は少なく各自で課題に取り組んだりグループワークをしたり様々な形があります。また、海外の生徒は授業中に発言することが多いです。質問をしたり、先生の雑談に「自分もそれをしたことがある！」などとてもカジュアルに、授業中でも先生と会話をしています。そのせいもあってか、アメリカの授業は堅苦しく感じたことがなく、楽な気持ちで受けることができると思います。

宿題ですが、全く多くないです。しっかり集中して取り組めば一つの課題に一時間以上かかることはないと思います。ただ、エッセイや実験のレポート、大きめのプロジェクトなどはそれ以上の時間がかかってしまうことはあります。

アメリカの高校にはもちろん校則はあります。しかし少し興味深い点として、何をしたら何日停学、や、何をしたら学校の時間はある部屋に閉じ込めるなどのことが細々と、起こりうるすべての問題について決まっており、それが冊子として生徒全員の手には渡されるのです。だから何といった感じですが、それがすごく興味深いなと思いました。

今月はアメリカの高校について日本との違いを交えながら長々と述べさせていただきました。自分も書いているうちに普段あまり気づくことのない違いや良さに気づけました。あともう三か月ほどの留学生活ですが、さらに英語力を上げ楽しみたいと思います。